

魚のうろこから、パーマがかかる 次世代コラーゲン人工毛髪素材開発のお知らせ

当社は、独自技術によりティラピア（養殖魚）のうろこから非加熱抽出・精製したコラーゲンを用いた各種材料を開発してきました。

ウィッグ用人毛の確保が困難になりつつある状況において、当社が培ってきたコラーゲンファイバーの技術をベースとして、ウィッグ等のヘアケア事業を展開している株式会社スヴェンソン（以下「スヴェンソン」）と共同で、人毛と同等以上の機能を有するコラーゲン人工毛髪を昨年開発しました。

通常、人毛に含まれる硫黄成分の化学反応によりパーマをかけますが、コラーゲンは硫黄成分が乏しいため通常のパーマ液でパーマをかけることはできません。そこで、当社独自技術で天然由来成分などを添加し改質することで、パーマ液でパーマをかけることがで

きるコラーゲン人工毛髪を開発しました。さらに、当該開発品は人毛のような滑らかさと、従来のコラーゲンファイバーの弱点であった水濡れに対しても十分な強度を兼ね備え、ヘアアイロンに対する耐熱性にも優れています。

スヴェンソンと令和7年10月に共同特許出願しました。現在、商品化検討を進めています。



原料うろこ



パーマ前後のコラーゲン人工毛



試作品ウィッグ

《本件に関する問い合わせ先》

多木化学株式会社

研究所 ライフサイエンスグループ

TEL : 079-436-0243

E-mail : collagen@takichem.co.jp